

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【公開番号】特開2014-45180(P2014-45180A)

【公開日】平成26年3月13日(2014.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-013

【出願番号】特願2013-157321(P2013-157321)

【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 7 D 409/10 (2006.01)

C 0 7 D 403/10 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/14 B

C 0 7 D 409/10 C S P

C 0 7 D 403/10

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月27日(2016.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一対の電極間に有機化合物を有し、
前記有機化合物が、
2位及び3位が無置換のジベンゾ[f, h]キノキサリン骨格と、
置換もしくは無置換のジベンゾチオフェン骨格、置換もしくは無置換のジベンゾフラン骨格、または置換もしくは無置換のカルバゾール骨格の中から選ばれた正孔輸送性骨格と

、
アリーレン骨格と、

を有し、

前記2位及び3位が無置換のジベンゾ[f, h]キノキサリン骨格と、前記正孔輸送性骨格が前記アリーレン骨格を介して結合する

ことを特徴とする発光素子。

【請求項2】

一対の電極間に有機化合物を有し、

前記有機化合物が、

少なくとも2位及び3位が無置換のジベンゾ[f, h]キノキサリン骨格を有し、

前記有機化合物から、

LC分離後、アルゴンガスを30eV以上100eV以下のエネルギーで衝突させるLC/MS分析で、少なくともプレカーサーイオンと、前記プレカーサーイオンの数値からm/z = 55を差分した数値のプロダクトイオンと、が検出される

ことを特徴とする発光素子。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の発光素子を用いた発光装置。

【請求項4】

請求項3に記載の発光装置を用いた電子機器。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の発光装置を用いた照明装置。